

筑西市ふるさと納税

皆さまからお寄せいただいた平成 27 年度までのふるさと納税寄附金は、下記の事業で活用させていただきました。

ご支援、誠にありがとうございました!



平成 28 年度活用状況についてのご報告

1. 鮭が遡上する勤行川など美しい自然を守り、引き継いでいくための事業

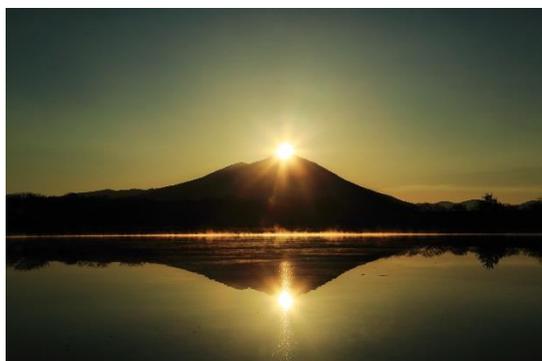


〈主な事業〉

活用額 3,020,000 円

ふるさとイメージアップ事業

市内を流れる五行川（勤行川）には、毎年11月上旬から12月上旬に鮭が遡上します。市街地から間近で観察できることから、「鮭が帰ってくるまち筑西市」としてさらに盛り上げるため、河川清掃やPR活動、稚魚放流会への支援などを行いました。



河川施設管理事業

母子島（はこじま）遊水地周辺の桜の管理などを行いました。母子島遊水地は昭和61年の小貝川水害後に整備された遊水地で、筑波山が水面に映る「逆さ筑波」、紅に染まる夕霞など、変化に富んだ景色が楽しめ、10月と2月には山頂から太陽が昇る「ダイヤモンド筑波」が見られます。

2. 文化勲章受章者、陶芸家・板谷波山、洋画家・森田茂をはじめとするふるさと

の伝統文化を守り育てるための事業

活用額 800,000 円



〈主な事業〉

しもだて美術館企画展開催事業

筑西市にゆかりのある作家を中心に、様々な作家の展覧会や児童画展を開催。筑西市の芸術文化を市内外にアピールし、交流人口を増加することに活用いたしました。



指定文化財支援補助事業

県指定文化財である、小栗内外大神宮（おぐりないげだ いじんぐう）太々神楽（だいだいかぐら）の継承を支援しました。12 神楽 36 座（12 の場面と 36 柱の神々）から成り、神々の功績をたたえ平穏な自然と作物の豊穰を祈り、悪を払い幸福を祈願する神楽です。毎年 4 月 21 日、11 月 10 日（ともに直前の日曜）の例大祭で、神楽舞が奉納されます。

3. 教育環境の充実など、未来を支える子どもたちの豊かな心を育むための事業

活用額 7,200,000 円



〈主な事業〉

学校図書館司書配置事業

司書教諭やボランティアと連携し、児童生徒の読書活動支援や学校図書室（館）を活用した授業の推進を図りました。平成 28 年度は、市内 27 校全てに司書を配置し、蔵書管理、読み聞かせ、効果的な資料活用及び学習環境を充実させました。



心の相談員事業

相談員を市内 7 中学校全校に配置しました。

社会科副読本作成事業

4. 全国、世界での活躍をめざす市民のスポーツ活動を応援するための事業

活用額 900,000 円

〈主な事業〉

中学校特別活動助成事業

中学校の部活動に対し、学校から市内大会・県西大会・県大会について自動車（バス）を提供し、保護者の負担軽減を図りました。また、関東大会・全国大会に出場する中学校の部活動に対し、交通費、昼食代、宿泊費に係る遠征費の一部を助成しました。



5. 下館祇園まつり、どすこいペア、ひまわりフェスティバル、小栗判官まつりなど

地域で伝承されてきた祭りを支援する事業

活用額 1,900,000 円

観光客誘致拡大事業

観光協会事業である下館祇園まつりに代表される夏の四大まつりやどすこいペア、ひまわりフェスティバル、小栗判官まつり等の開催を支援し、地域の活性化を図りました。また、多彩な観光メニューの充実を図り、観光客誘致拡大に努めています。



■ イベント開催情報 ■

「下館祇園まつり」

7月最終週の木曜日から4日間

場所：下館駅前通り他

「あけのひまわりフェスティバル」

8月下旬～9月上旬

場所：筑西市倉持

「どすこいペア」

8月下旬または9月上旬

場所：筑西市役所関城支所

「小栗判官まつり」

12月第1日曜 場所：新治小学校

6. 安定した雇用確保による定住促進や医療サービスの充実による子どもを産み

育てやすい環境づくりのための事業

活用額 7,400,000 円



はぐくみ医療支給経費

支給制限されている妊産婦、小児（中学生は入院のみ）と、中学生の外来診療分及び高校生世代を対象に医療福祉費と同じ内容の助成を行い、小児・高校生世代については医療福祉費と同様に医療費の一部を助成しました。

※平成28年度にお寄せいただいた寄附金については、年度末に「地域づくり振興基金」に積み立てを行い、平成29年度の事業に活用させていただいております。

問合せ先：筑西市役所企画部企画課 0296-24-2197